

## 観測データを取り込んだ南海トラフ巨大地震の動的破壊シミュレーション

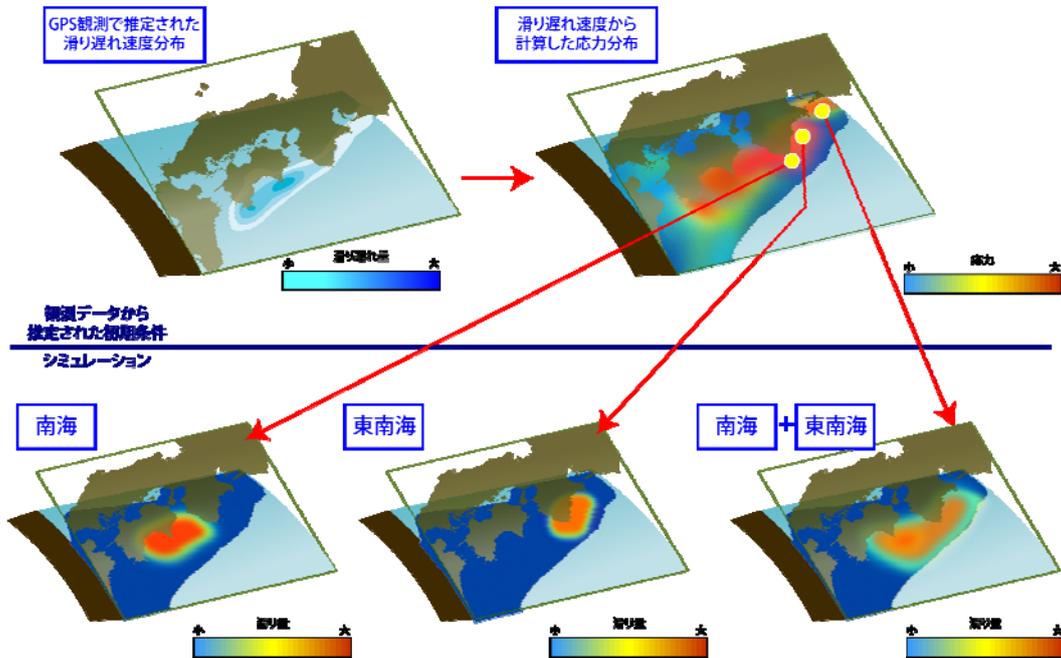


図7. 観測データに基づく初期条件を用いた東海・東南海・南海沖のプレート境界における動的破壊のシミュレーション  
GPSデータから推定された滑り遅れ速度分布（左上）から計算された応力分布（右上）を初期条件とし、破壊開始点の位置（黄色丸印）を変化させて動的破壊のシミュレーションを行った。その結果、破壊開始点の位置に応じて、南海沖のみが破壊される地震（左下）、東南海沖のみが破壊される地震（中下）、南海沖と東南海沖の両方が破壊される地震（右下）を再現することができた。

## 伊豆東部火山群で予想される噴火推移

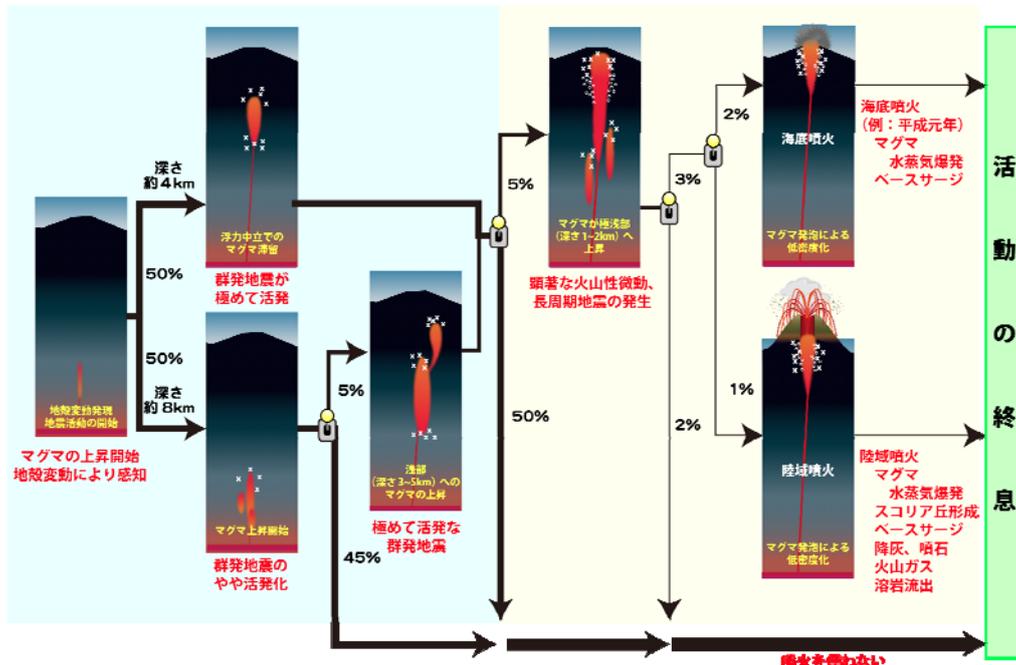


図8. 伊豆東部火山群の噴火シナリオ

伊豆東部火山群周辺の群発地震発生時に想定される火山現象について、時間経過に伴う活動の推移を分岐させて表した系統樹を示す。百分率の数値は活動履歴研究の成果を利用し、それぞれの事象ごとにその発生頻度を示す。このような系統樹を利用し、火山活動で想定される事象を時系列で整理したものを噴火シナリオと呼ぶ。これを用いて噴火規模、様式、推移の予測を試行する。